

太宰府市民の皆さん、こんにちは!

県議会議員 わたなべ美穂です!

ごあいさつ

皆様の多大なるご支援で無事2期目の当選を果たし、会派では政策の要となる政策審議会会長、常任委員会は県土整備委員会、特別委員会は空港・交通等調査特別委員会の委員長、文化議員連盟副会長など重責を拝命しました。今後も太宰府市と県のかけはしになるべく努力するわたなべ美穂を後援会も全力で支えてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

わたなべ美穂後援会 会長 大藪善治

一般質問

6月議会報告

令和を機に太宰府の課題解決を!!

- ①太宰府市にとって大切な財源の一つである特別地方交付税の算定基準は、文化財の場 一合「件数」です。つまり、市面積の12.2%を占める国の特別史跡も、大宰府政庁・大野 城・水城の「3件」で算定されます。しかし実際の維持管理費用は毎年太宰府市にとっ て大きな負担となっていることから、件数ではなく面積で行えるよう基準の見直しを県 から国へ要望してほしいと訴えました。
- ②文化財保護法では、国の補助金で購入した史跡地は保存以外の目的で使用することを禁じているため、規制緩和を国に求めることで市町村が史跡をもっと活用できるよう要望しました。 知事及び教育長は、市の考えを踏まえて国へ要望すると回答しました。

予算特別委員会

民生委員・児童委員の現状と課題について質問

全国的にも民生児童委員のなり手不足・高齢化が問題になっています。 県は①相談内容の多様化 ②訪問件数の増加などによる多忙化など が、なり手不足の原因であるとの見解を示しました。また、民生児童委 員は兼業できず、60代でも現役で働く人が増えていることが委員高齢 化の原因の一つになっているとも答弁しました。

わたなべ美穂はこれらに加えて、民生児童委員の金銭的負担の増加もなり手不足に拍車をかけているのではないかと訴え、①市町村ごとの



民生児童委員の負担額と実質活動費の現状調査 ②ボランティアでは限界にきているため、調査結果を踏まえ法改正も視野に、まずは国に対して活動費の増額を要望するよう質し、県は実施すると回答しました。

物性なべ美穂後援会

個人で、グループでご参加ください! ご希望の方は、裏面の事務所までお問い合わ せください。締め切りは9月30日(月)です。 と き 2019年10月24日(木) 午前8時30分受付(9時42分スタート)

ところ 小郡カンツリー倶楽部

参加費 2,000円 (懇親会·賞品·保険代)

〈プレー代11,000円程と食事代は個人負担、基本セルフプレーです。〉





















皆様とのお約束です!

H30年度政務活動費収支報告



県議会では会派に政務活動費が支給され、議員が必要経費を会派に請求し、会派から 支給される仕組みになっています。

わたなべ美穂への支給総額 5,709,938円

(単位:円)

科目	支出額	備考		
事務所維持費	2,944,488	家賃・光熱費・事務費・人件費総額の半額		
議会報告	2,912,836	デザイン・印刷・全戸配布費用総額の5~9割(年4回)、県政報告会経費		
交通費	84,378	公費支給以外の負担分		
その他	118,606	資料代の半額と研修会費		
総額	6,060,308			

[※]費用負担の割合は、議会の申し合わせに従っています。政務活動費で負担していない経費及び支給総額と 支出総額の差額は資金管理団体を通してわたなべ美穂が負担しました。



県議選相手陣営の公選ビラは 単なる誹謗中傷です



特に土木関連費用は、年度内に大きく変更することがあるため、年度末にその年度の「予算」について議論すること自体意味がありません。以下、主な問題点を説明します。

西島大吾候補公選ビラより (一部抜粋) 説 決算額9億6600万円近 (太宰府市6月議会より)

訂 決算額2900万円 に (太宰府市6月議会より)

福岡県か	ら太宰府市へ	の予算が	減っている	現実		
太宰府市選出県議会議員が与党議員か野党議員か?で違いが						
	平成26年		平成30年			
(県資料参照)	与党議員		野党議員	割合		
●道路関係	4 億 2,000 万円	DOWN	4 200	110		
(基幹道路整備)	4 版 2,000 万円	SOWN.	4,200 万円	1/10		
(2) 河川(大) 佐弗	1億3,700万円	DOWN	2 700-	1/0		
● 河川改修費	1 1念 3,700 万円	SOWN	3,785 万円 ①	1/3		
● 子育で支援	430 西州	DOWN	206 万円	1/2		
(放課後児童クラブ)	(1 施設あたり)	2	200311	-/ 4		
●警察	3,400 万円	DOWN	2,200万円	2/2		
(交通安全施設整備事業)	U, TUU 7/17	***************************************	2,2007A 3	5		

- ①減額理由は、平成15年に起こった水害の河川改修工事・太宰府市分が27年度を もって終了したためです。
- ②平成26年度は国と県の補助金が合算。平成30年度は県の補助金だけがベース となった数字。実際の県の施設運営補助金は1施設あたり平成26年度約149万円、平成30年度約179万円(約30万円以上増)です。
- ③この予算は、既存信号機のLED化事業費。事業の進行に伴い対象となる信号機が少なくなっているため、減額は自然の成りゆきです。



『皆せんの声をお聞かせくだせい!!/

あなたとつなぐ県政 わたなべ美穂 事務所